

平成 29 年度 峰小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に、心身ともに健康で、自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成

(1)健康でたくましい子【元気】(2)よく考え進んで学ぶ子【やる気】(3)心豊かで、思いやりのある子【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「地域に学ぶ学校づくり」

- (1) 常に児童が主役となる学校をめざす。
- (2) 児童の長所を引き出し、ほめて伸ばす教育を実践する。
- (3) 重点項目を掲げ、学校・家庭・地域が一体となり重点活動に取り組み、教育目標の実現をめざす。
- (4) 陽東地域学校園の教育ビジョンを念頭に、小中一貫教育を生かした教育活動の充実を図る。
- (5) 重点活動の評価項目や具体的目標値を設定し、組織を生かして目標値の達成をめざす。
- (6) 評価者の評価等を踏まえ、具体的な改善策を講じて目標値に迫る経営をめざす。
- (7) 学校経営の重点目標を学年・学級経営計画や職員の行動規準表に反映させ、組織的な取組により、具体的目標値の達成をめざす。
- (8) 評価を児童や教職員の意欲及び成果向上の道具（ツール）として生かす。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 子どもを生かす学校
 - ・ 自ら課題をもち、進んで行動できる児童の育成
 - ・ 基礎・基本の確実な定着を目指した個に応じたきめ細かな指導の充実
 - 学習意欲を高める楽しく分かる授業の実践
 - ・ 児童が主役となる場の意図的な設定と、自己の成長を実感できる活動の推進
- (2) 組織を生かす学校
 - 教育専門職としての資質と能力の向上を目指した校内研修の活性化
 - ・ 組織マネジメントの考えに基づき、全教職員協働による教育目標の達成
 - ・ 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌や指導形態の工夫
- (3) 地域を生かす学校
 - ・ 地域協議会を窓口とした保護者や地域団体等の学校へのさらなる積極的な参画の推進
 - ・ 外部の学校評価などを活用し、地域住民が来校したくなる開かれた学校づくりの実現
 - 地域活動等への積極的な参加の奨励と相互理解の推進

〔陽東地域学校園教育ビジョン〕

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・ 最重点活動〔峰小 元気・やる気・思いやり活動〕
- ・ 全体で育てたい児童像…「自分の夢や目標を実現するために自ら考え進んで行動できる児童」

【 学 習 指 導 】

【やる気】「よく考え進んで学ぶ子」（スタンダード：学習面～基礎・基本を身に付け、進んで学習します）

○基礎・基本の確実な定着を目指した学習活動の充実と家庭学習の習慣化

○読書活動の推進

- ・ 「できた」「分かった」が実感できる「分かる授業」の展開と振り返り活動の充実

【 児 童 生 徒 指 導 】

【思いやり】「心豊かで、思いやりのある子」（スタンダード：生活面～ルールやマナーを守り、協力して生活します）

○あいさつ運動の推進 ～各種団体と連携したあいさつ運動の実施

- ・ ルールやマナーを守る態度の育成 ～「峰小よい子の一日」に即した指導の徹底

・感謝する心や互いを認め尊重する態度の育成 ～感謝の会、いじめゼロ集会の実施 【健康（保健安全・食育）・体力】 【元 気】「健康でたくましい子」（スタンダード：健康・体力面～元気に運動し、健康でたくましい心と体をつくります） ○健康・体力向上活動 ～元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加 ・歯磨き指導（きらきらクラブ）の継続 ～歯磨きボランティアの活用 ○望ましい生活習慣の育成 ～「早ね・早起き・朝ごはん」の徹底と食育指導の充実

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「私は、今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 85%以上	①学校行事や児童活動等で、児童が自主的・主体的に取り組む場を意図的に設定する。特に、<u>あいさつ運動では、児童の発想や主体性を生かし、学校全体であいさつの気運を高めていく。</u> ②Q-U テストや学校生活アンケートを活用して、一人一人の児童にとって居がいのある学級づくり、分かる授業の展開に努める。 ③学級活動やロング昼休みを利用して、学級全員で遊んだり教師と児童が共に遊んだりする機会をもつ。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケート「先生は大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 85%以上	①児童の実態を考慮した、創意工夫ある学年・学級経営を実践する。 ②全職員が学校経営に参画している意識を持ち、学習指導・児童指導等の課題を共有するとともに、組織的な指導体制のもとで同歩調で指導に当たる。 ○③校内研修の活性化、一人一授業の実施等を通して、一人一人の教員の授業力向上を図る		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	○①「学習のきまり」を掲示し、必要に応じて確認させるなどしながら、学習訓練を徹底させる。 ②「峰小よい子の一日」に基づいた生活目標を設定し、学級活動や朝・帰りの会等で繰り返し継続的に指導していくことにより、基本的な生活習慣を身に付けさせる。 ③「峰小よい子の一日」徹底運動を行い、めあてをもたせたり振り返りをさせたりして、自覚を深めさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 85%以上	①授業のめあてを明確にするとともに、板書や発問、授業形態等を工夫した授業を行う。また、終末には授業で分かったことを振り返る時間を持つ。 ②児童一人一人の実態をとらえ、教材研究をするとともに、学校課題の研究や一人一授業等で積極的に授業を公開し、互いの指導法を向上させる。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」⇒児童の肯定的回答 90%以上（いじめ解消率 100%）	①いじめ防止強調月間はもとより、あらゆる機会を通して、いじめが許されない行為であることを指導する。 ②アンケートや教育相談の結果を踏まえて、道徳や学級活動の時間に望ましい人間関係を醸成するための心情や判断力を育てる。 ③HP や学校だより・児童指導だより・学年だよりを利用していじめ対策や学校の現状を公表し、家庭・地域との連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①授業時間の確保に努め、日課、授業、学校行事の前年度の反省や記録をもとに教育課程を実践する。 ②今年度の反省や記録を次年度に引き継ぐとともに、課題について話し合いや検討会をもち、より適切な教育課程を編成、実施する。 ③児童が主体となる活動の時間を確保し、内容の充実を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上	①授業参観、学校自由参観、親子活動、ボランティアの積極的な受け入れ等により、学校を保護者や地域に公開する機会を多く設ける。 ②学校だよりや学年だより、ホームページ等で積極的に学校の情報を発信、提供する。	【達成状況】 【次年度の方針】
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 企業、地域の各種団体「街の先生」、宇都宮大学、ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。 ②「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を密にし、学校運営の充実を図る。特に、地域コーディネーターと連絡・調整を図りながら、学校支援ボランティアの活用を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

教育活動の状況		A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上	①教室内外の掲示物を整えるとともに、定期的にロッカーや机の中を整頓させるなどして、学習にふさわしい環境を維持する。 ②場所に応じた清掃の仕方の指導の工夫や班長への指導の充実を図り、縦割り班清掃を通して望ましい環境整備に努める。 ③長期休業等を利用して、特別教室や資料室の整備を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①交流授業や中学校訪問等を通して中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。 ②学校園で統一して登校指導・お弁当の日・統一献立・学校保健委員会等を行うことで学校園間の連携を強化する。 ③「陽東地域学校園ナビ」活用して児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。	
		B 1 児童は、峰小の合言葉「元気・やる気・思いやり」を意識して生活している。 【数値目標】全体アンケート「学校は、『元気・やる気・思いやり』の合言葉を意識して生活するよう指導している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	①峰小の合言葉を行事や活動のねらいに位置付け、意識化を図る。 ②行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。 ③学校便り・学年だよりに児童の活動の様子を掲載し、保護者への合言葉の周知を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	学生生活	A 11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①あいさつを「今年度のテーマ」をして常に児童に意識させる。 ○②あいさつ運動月間を設定するとともに、PTA や地域協議会、地域学校園等と連携したあいさつ運動を実施する。 ○③教職員が率先してあいさつをする。 ④あいさつの効果や重要性について、道徳や学級活動の時間、全体朝会・一斉下校等を活用して指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】
		A 12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①場に応じた言葉づかいについて、道徳や学級活動の時間、校外学習や学校支援ボランティアとの交流の機会等を利用して指導する。 ②日々の生活の中で教師が模範を示すとともに、特に目上の人への言葉づかいについて、機会をとらえて指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】

健康・体力	B6 児童は、自分の特徴や友達の良さに気づき、自他を尊重している。 【数値目標】 全体アンケート「自分は、自分や友達の良さに気づき、自他を大切にしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①全ての教育活動の中で、自他の特徴や良さについて考えたり伝えあったりする時間を設ける。 ②人権を尊重し、いじめを許さない態度や実践力を育てる道徳の授業を、全学級、年1回は授業参観で実施する。 ③実態調査を、年に数回行うとともに、教育相談を行う。児童一人一人と向き合い、共感的理解を心がけるとともに、悩みを把握しその解決を支援する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	①スポーツ集会において、多様な運動を意図的計画的に実施し、基礎体力の向上に努める。 ②昼休みに共遊の時間を設けるなどして外遊びを奨励し、体を動かす楽しさを味わわせる。 ○③「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、楽しみながら運動する機会を数多く持たせる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	○①家庭の意識を高めるために食育だよりを毎月1回発行するとともに、親子活動などで栄養士による食に関する学習会を行う。 ○②児童の栄養に対する意識を高めるため、栄養士と連携した授業や栄養指導を行う。 ○③ランチルームや各階廊下の食育コーナーを整備する。 ④給食週間やお弁当コンクールなどの食育行事に進んで参加するよう支援し、各自の望ましい食習慣の醸成を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B2 児童は、各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる。 【数値目標】 全体アンケート「自分は、検定カードなどをもとにめあてを決め、達成に向けて努力している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	①新体力テストの結果から、課題を明確にし、スポーツ集会や教科体育の時間に計画的に補強していく。 ○②各種検定カード・ミニマムを活用して各人に応じためあてをもたせ、教科体育や休み時間に取組を支援する。なわとび検定では、児童同士で技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上を図る。 ③取組の様子を、「元気活動」として学校だよりや学年だよりで家庭・地域に知らせ、意欲の向上を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B5 児童は、自分の歯に関心を持ち、食後丁寧に歯磨きをしている。 【数値指標】 全体アンケート「自分は、食後ていねいに歯磨きをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	①歯と口の健康に関する意識を高めるために、学校医や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。 ②保健だよりを毎月1回発行するとともに、むし歯のない児童や歯磨き名人を表彰して歯磨きへの意欲を高める。 ③保健委員会やボランティアを活用して、歯磨きの個別指導を実施する。 ④クラス全員での歯磨きをさらに徹底していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	○①「話し方のきまり」を掲示し、児童が発言したり話し合ったりする際の参考にさせる。 ○②授業の中に児童が考えたり話し合ったりする時間や自分の考えを発表する場を設け、児童が多様な考えをもち、主体的に学習に取り組めるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上	○①授業の準備をしっかりとするとともにチャイムの合図を守り、落ち着いて充実した授業が展開できるようにする。 ○②「聞き方のきまり」「声のものさし」等を活用して授業態度を指導し、落ち着いた雰囲気の中で授業が進められるようにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
	OB7 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値目標】 全体アンケート「自分の子どもは、家庭学習（宿題）をしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	○①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭時間の目安や自主学習の例などを示して、児童が主体的に家庭学習に取り組めるようにする。 ②家庭学習に対して適切な評価をするなど、児童の意欲を高める工夫をする。 ○③学年だよりやHP等で家庭学習の意義や期待される効果を取り上げ、保護者の協力を得る。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課	OB3 児童は、読書の習慣がついている。 【数値目標】 全体アンケート「自分は、楽しく読書をしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上	○①週2回の読書タイムを確実に実施する。 ②読書ノート「みね読書人」の活用を通して一層の活用を図る。 ③図書館だよりや「読書いっぱい活動」により、家庭と連携して「家読」を奨励する。	【達成状況】 【次年度の方針】

題等	B4 学校は、異学年・異校種間の交流や保護者・地域の方との交流により学校生活に潤いをもたせ、「来たくなる学校づくり」を推進している。 【数値目標】 全体アンケート「自分は、異学年の友達や地域の方々と一緒に、充実した活動をしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	①児童会活動や学校行事等において、縦割り班での活動積極的に取り入れる。 ②授業や委員会、クラブ活動などにおいて、幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流を積極的に行い、内容の充実を図りながら、児童との豊かな心情を培う。	
----	---	---	--

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

6 学校関係者評価

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。